



安城ロータリークラブ 週報
ROTARY CLUB OF ANJO



2011-2012 RI テーマ

●NO. 550 2012/6 第4例会●

テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：沓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12:30~13:30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F / 安城市御幸本町15-1
- TEL: 0566 - 75 - 8866 ●FAX: 0566 -74- 5678
- Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2691回例会

親睦夜間例会 (沓名年度最終例会)

2012年6月22日(金)18時30分から 於：川本
司会者：山口研君
ソング：「我等の生業」

ゲスト：京極 悟様 元アイシン開発常務取締役
高橋正文様 大成㈱取締役執行役員名古屋支店長
假屋園洋一様 ㈱東祥取締役社長室長

ビジター：なし



出席報告

会場委員会 内藤教恵君
会員58名 出席義務者47名 出席率100%
「1年間ありがとうございました。」

会長挨拶 会長 沓名俊裕君

こんにちは。今日で本当の意味で私の年度最終例会です。
会員の皆さんには1年間会務運営にご協力いただき、またご
指導ご鞭撻をいただきありがとうございました。

本日は最終例会ということで、3名のゲストをお迎えいたし
ました。ゲストをご紹介します。



京極悟さん 1年間の卓話者を代表し、特に印象に残った卓
話をされた方と思い、京極さんをお招きしました。京極さん

のスペインでの巡礼の道中のお話には感服しました。

高橋正文さん 高橋さんは1年間我々の例会の例会場の
設営・撤収を代行してくださいました。予算が少ない中、週
1回仕事にならない仕事にもかかわらず立派な会場設営等
を行ってくださり、感謝しております。

假屋園洋一さん ㈱東祥の取締役社長室長で、私が1年間
例会の時にお話させていただきましたあいさつ等のパワー
ポイントファイルを作成してくれました。

(3名のゲストへお土産贈呈)

事務局の中嶋美和さんと本間育子さん。黒子になって1
年間会務運営を支えてもらい多大な貢献をしてくれました。
また、会計監査も無事終了しました。

(中嶋さんと本間さんへ花束贈呈)



もう一人の黒子は、幹事の永谷文人君です。1年半以上前、
「会長のやりたいことをやるだけです。」と言って陰日な
なく、本当によく支えてくれました。

(会長が似顔絵画を作成しプレゼント)





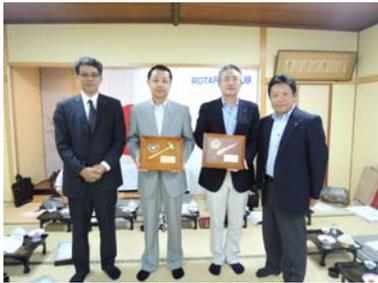
安城ロータリークラブ 週報

ROTARY CLUB OF ANJO

このように1年間私やクラブをさせてくれた黒子を紹介して、1年間の感謝を申し上げ締めさせていただきます。

記念楯の贈呈

大見宏次年度会長から杓名俊裕会長へ
石川義典次年度幹事から永谷文人幹事へ



幹事報告 幹事 永谷文人君

*ゴルフ部会より 6/17(日)安城 RC コンペ優勝は清水正幸君です。おめでとうございます。

6/25 (月) ゴルフ部総会 18:30~新富にて行います。

*ランチ同好会より 6/23 (土) 12:00~「Le Chef」にてランチ会を企画いたしました。

*6/29 (金) 本年度最終理事会を18:30~川本にて行います。

*6/29 (金) 事務局はお休みです。

*観劇同好会より 7/29 (日)「桂三枝改め桂文枝襲名特別公演」は6/29 (金) までに事務局へFAXにて申し込みください。



本日の例会

親睦夜間例会

・場 所：川本

・担当者：親睦活動委員会

・司会進行：横山真喜男委員長

乾杯の発声 加藤英明君

1年間のメのあいさつ 原田慶三郎君



安城RCクラブの活動についての記者懇談会

2012. 6. 20(水) 仔馬にて

広報委員長 岡田良三君

1. 会長挨拶 次年度安城 RC 会長 大見宏君
 - ・開催主旨・・・一般市民に安城 RC の奉仕活動の内容を知って欲しい
 - ・会長方針・・・2012~2013 年度の安城 RC の活動方針について説明
2. 記者参加者
 - ・中日新聞安城通信局長 紙山直泰様
 - ・中部経済新聞社 刈谷支局記者 勝又佑記様
 - ・キャッチネットワーク コンテンツ制作本部制作 2グループ 若杉雅也様
 - ・安城ホームニュース 金井紀道様
3. 2011~2012 年度事業報告 次年度幹事 石川義典君
 - *ガバナー補佐活動 (ガバナー補佐 細井英治君)
 - ・ガバナー補佐杯ゴルフ大会の開催・・・2011・11・23(祝) 葵カントリークラブにて西三河地区9のロータリークラブ員参加
 - 東日本大震災被害者支援チャリティー (¥188,414)
 - ・インターティーム開催・・・2012・2・19(日) 三河安城ホテルランドテイアラで西三河地区9クラブの会員参加で行う
 - *インターアクトクラブ年次大会・・・2011・7・18(祝)
 - ・安城文化センターで、愛知県内のインターアクトクラブに所属する高校生が集まり、社会奉仕に関する活動の発表を行う
 - *東日本大震災被害者支援(テント・団扇寄贈)
 - *カンボジアへ井戸贈呈
4. 2012~2013 年度事業内容 (具体的内容) について
 - 次年度各委員長より報告
 - 社会奉仕委員会(委員長 石川博君)
 - ・RCC (ローター地域共同隊)の支援 安城市少年野球 (11/3・2/23~24)
 - ・530 運動の推進
 - ・明祥中学校とタイアップし、油が淵の浄化運動推進 (5月)
 - ・安美展への協力
 - ・安城市民駅伝大会への協力



安城ロータリークラブ 週報

ROTARY CLUB OF ANJO

- ・安城市社会福祉協議会への支援
- ・東日本復興支援
- 職業奉仕委員会(委員長 横山真喜男)
 - ・安城市の学校での職業講話(講師派遣)・職場体験システムの確立
- 国際奉仕委員会(委員長 加藤正人君)
 - ・安城 RC として、国際支援活動の展開
- 新世代奉仕委員会(委員長 藤井英樹)
 - ・安城ホーイスカウト協議会への支援
 - ・安城学園インターアクトクラブへの支援 海外研修(ハワイ)・年次大会・平和フォーラム
 - ・児童虐待問題の周知と対応支援
特に児童虐待をする親への支援システムの確立
- クラブ創立 55 周年記念行事(実行委員長 竹内通裕)
 - ・2月記念例会
 - ・3月または4月に会員家族親睦旅行
- ORI2760 地区 2012～2013 年度地区大会を安城 RC がホストクラブとして開催(10/27～28)
- 4、その他質疑応答・要望事項等
 - ⇒児童虐待をする親への支援システムの確立について集中的に質疑を交わしました。
 - ⇒東日本大震災の東北支援についても多くの質疑が交わされました。

【記者懇談会参加者】

中日新聞安城通信局長	紙山 直泰様
中部経済新聞社 刈谷支局記者	勝又 佑記様
キャッチネットワーク	若杉 雅也様
安城ホームニュース編集長	金井 紀道様

安城RC	
会長	大見 宏
会長エレクト	都築雅人
副会長	磯貝廣治
幹事	石川義典
副幹事	神谷 研
職業奉仕委員長	横山真喜男
社会奉仕委員長	石川 博
創立55周年記念行事実行委員長	竹内通裕
広報委員長	岡田良三

==次年度(大見年度)の7月の行事予定==

【7月のクラブ内例会・委員会予定】

6日 クラブフォーラム事業計画発表

会長. 会長エレクト. 副会長兼クラブ奉仕. 幹事. 会計. SAA

* 定例理事会 例会終了後

13日 クラブフォーラム事業計画発表
直前会長兼地区大会実行委員長. 創立 55 周年行事実行委員長. 職業奉仕. 社会奉仕.

国際奉仕. 新世代奉仕. 出席. 職業分類

* 地区大会実行委員会 例会終了後

20日 クラブフォーラム事業計画発表
親睦活動. 雑誌. 会員選考. 会員増強. プログラム. 広報. クラブ会報. ロタリー情報. ニコボックス. 会場

* 第 1 回クラブアッセンブリー

27日 セタ例会

* 歴代会長会議 例会終了後(会議室)

懇親会 18:00～(川本)

《2760 地区内 7 月の行事予定》

16日(月・祝) インターアクトクラブ年次大会

23日(月)～31日(火) インターアクト派遣研修 2名

派遣先: ハワイ

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

【時事トピックス】

ボイジャー1号、太陽系境界に到達 35年間飛行の惑星探査機

出典: (共同通信) 2012. 6. 16 WEB版

米航空宇宙局(NASA)のジェット推進研究所は15日までに、35年前に打ち上げた探査機ボイジャー1号が太陽系の一番端の部分に到達したことを明らかにした。まだ境界は越えていないが、近く人工物体として初めて太陽系の外に出る見通しだ。

境界の内側の領域には、太陽から出た粒子の流れ「太陽風」が吹き、地球上の生命を脅かすような高いエネルギーを持った宇宙線が太陽系外から入るのを防いでいる。

ボイジャーは地球から178億キロ離れた位置を飛行中。送られてくるデータを分析した結果、宇宙線の量が急増しており、境界に近づいていることが分かった。

ボイジャー1号は1977年に打ち上げられた無人惑星探査機。プルトニウムの崩壊熱を利用した電源を使っており、2025年まではデータを送信し続けることができるという。